

## myUTN-800 dongleserver ProMAX Rack Mount Kit - RMK3

# クイックインストールガイド



MHAB-EB-RMK3-JP Version: 1.1 | 2020-05

#### 概要

この「クイック・インストール案内」では、RMK3 の設置方法と初期セットアップ について説明します。

目次 ➡ 🖹 1。

本製品の設定でお困りのときは、弊社のカスタマーサポートセンターまでお問い 合わせください。

9:00~18:00 月~金曜日(祝日を除く)



0570-02-3666



support@seh-technology.jp



http://www.seh-technology.jp

### □□ 目次

一般情報	2
目的	2
マニュアル	2
組み立て作業の前に	2
安全規定	3
パッケージ内容	4
必要なツール:	4
準備	5
設置作業:ステップ1	6
ゴム脚の取り外し	6
設置作業:ステップ2	7
レールと取付金具の分離	7
設置作業:ステップ3	8
デバイスにレールを取り付ける	8
設置作業:ステップ4	9
レールに取付金具を取り付ける	9
設置作業:ステップ 5	10
クロスビーム 取り付ける	10
設置作業:ステップ6	11
デバイスをラックにマウントする	11
設置作業:ステップ7	12
ケーブルを接続する	12

#### 🖹 一般情報

#### 目的

ラックマウントキット 3 (RMK3) には、myUTN-800 または dongleserver ProMAX をラックにマウントするレールと付属品が含まれています。

レールは、14.5"以上の奥行がある 19" ラックに適合します。

本インストール案内は、RMK3 を使用して myUTN-800 または dongleserver ProMAX をラックに設置する手順を説明します。

現在様々なタイプのラックが市販されています。そのため、ここで説明する設置 方法と若干異なる可能性があります。使用するラックに付属した設置説明書も併 せて参照してください。

myUTN-800 または dongleserver ProMAX は、設置、保守および USB デバイスの 接続や切断のときにのみ取り外してください。

#### マニュアル

本マニュアルでは、myUTN-800 と dongleserver ProMAX を共に「デバイス」と呼びます。

設置手順は、myUTN-800 の使用を前提に説明しています。dongleserver ProMAX を設置する場合は、説明で myUTN-800 と記載された箇所を dongleserver ProMAX に置き換えてください。

#### 組み立て作業の前に

- ・ 本インストール案内とすべての安全規定をよく読み遵守してください。
- ・ デバイスとラックの安全規定をよく読み遵守してください。
- ラックのサイズと設定を確認し、そのデータを RMK3 のデータと比較してく ださい。



2

#### 🖹 安全規定

次の安全規定に留意してください。

- ラック、デバイス、および RMK3 に関する安全規定をよく読み遵守してください。
- ・ RMK3 は、目的で説明する用途以外に使用しないでください。
- 常にラックが安定していることを確認してください。
- ラック内のデバイスが十分に換気されていることを常に確認してください。
  また、できるかぎり近接する 19" ユニットの間にスペースを空けてください。
  デバイスの動作温度の許容範囲は、デバイスのクイック・インストール案内を参照してください。
- ・ 設置は、資格を持つ作業者のみが実行してください。
- 設置中および使用中には圧壊と傷害のリスクがあります。指や体の他の部位 に注意してください。

### 🖹 パッケージ内容

作業を開始する前にパッケージの内容を確認してください。

- a) デバイスの取り付け用レール(2本)
- b) ラックへの取り付け用金具(2個)
- c) ケーブル固定具(1個)
- d) クロスビーム (1本)
- e) ネジ M4 x 4 mm (12 個)
- f) インストール案内(本マニュアル)



必要なツール:

- マイナスドライバ
- ・ プラスドライバ
- デバイスをサーバラックに取り付けるネジ類(付属品ではありません)



- 1. 電源コードをデバイスから取り外します。(電源の切断)
- 2. ネットワークケーブル (RJ-45) を デバイスから取り外します。

ゴム脚の取り外し

すべてのゴム脚をデバイスから取り外します。

- 1. デバイスは、安定した平面上に逆さまに置きます。
- 小型のマイナスドライバを使用して、各ゴム脚からピンを取り外します。
  同時にゴム脚も取り外します。
- 3. 他のゴム脚で手順2の作業を繰り返します。
- 4. デバイスの底面を下向きにして元の状態に戻します。





レールと取付金具の分離 レール (a) を取付金具 (b) から取り外します。

デバイスにレールを取り付ける

レール (a) を各 2 個のネジ (e) でデバイスに取り付けます。4 つの穴があるレール の先端がデバイスの前面になるようにする必要があります。

- 1. 外側のレールを後ろにスライドさせて内部のレールに触れるようにします。
- 2. 内部のレールの最初の穴の位置がデバイスの最初の穴と合うように調整します。 レールはデバイスの後方に突き出します。
- 3. レールの前部分を、位置合わせしたデバイスの穴に1つのネジ (e) で取り付けます。
- 4. 外側のレールを前にスライドします。
- 5. もう1つのネジ (e) で、レールの後ろの穴をデバイスの後ろの穴に固定します。
- 6. 手順1~5の作業を繰り返して、デバイスの反対側にもう1つのレールを取り付けます。



#### レールに取付金具を取り付ける

取付金具 (b) をレール (a) に取り付けます。

- 取付金具 (b) をレール (a) の上に置きます。 ブラケット部がある先端がデバイスの前面になり、ブラケット部が外側に向 くようにします。取付金具の2つの小さな穴の位置が、レールの2つの小さ な穴の位置とそろいます。
- 2. 2 つのネジ (e) で取付金具 (b) をレール (a) に取り付けます。
- 3. 手順1~2の作業を繰り返して、もう1つの取付金具(b)も取り付けます。



クロスビーム 取り付ける

クロスビーム(d)を、取付金具(b)の後方先端に取り付けます。

- 1. クロスビーム (d) をブラケット部を下向きにして、後方から取付金具 (b) の間 に挿入します。
- 2. クロスビーム (d) の両側を、片側 2 つのネジ (e) を使用して取付金具 (b) に取り 付けます。





デバイスをラックにマウントする

- 1. デバイスを、ラックの任意のマウント位置に水平に挿入します。
- 2. 両側に取付金具を装着したデバイスをラックに取り付けます。





ケーブルを接続する

- 1. ネットワークケーブル (RJ-45) をデバイスに接続します。
- 2. 電源コードをデバイスに接続します。 (電源の接続)
- 3. 付属のケーブル固定具 (c)を使用して電源コードへの張力を調整してください (下図を参照)。

ケーブル固定具は、固定具のピンをデバイス背面の穴に挿入しデバイスに固定しま す。



ケーブル固定具は、取り外して再利用できます。固定部のツ メを押し下げると緩めることができます。



メーカ: SEH Computertechnik GmbH Suedring 11 33647 Bielefeld, Germany 電話:+49 (0)521 94226-29 FAX:+49 (0)521 94226-99 サポート:+49 (0)521 94226-44 Email: info@seh.de Web: http://www.seh.de



重要なインターネットリソース:

技術サポート連絡先: http://www.seh-technology.com/jp/services/support.html 販売店情報: http://www.seh-technology.com/company/management-and-staff/ seh-sales-team.html ダウンロード: http://www.seh-technology.com/jp/services/downloads.html

© 2020 SEH Computertechnik GmbH

この文書に記載されている商標、登録商標および製品名は、それぞれの会社(所 有者)に帰属します。

本文書の記載事項は予告なく変更されることがあります。

この製品マニュアルには、製品に関する有益な情報が記載されています。製品の 使用中は、常に参照できるように保管しておいてください。